

令和5年度 講座実施報告書

講座の名称	男女共同参画講座 「ハッピー家事シェア講座」				
講座の目的	「家事シェア」とは「負担も不満も担い合う」こと。家事の分担率にとらわれず、それぞれの家庭なりのシェア(共有)方法を話し合い、夫婦の合意のもとでワークやライフを助け合うことです。家族が居心地のいい暮らし方・働き方を考えるきっかけになるアイデアを家事シェア研究家の三木智有氏より教えていただく。				
募集対象	上尾市民				
定員	50人	申込人数	30人	当日参加人数	30人
開催場所	上尾市文化センター 小ホール				
日時	6月17日(土)10時00分～12時00分(受付9時30分～)				
講師	NPO 法人 tadaima! 代表理事 三木智有				
開催内容	<p>○家事シェアには2つの役割があります。</p> <p>一つは暮らしを回していくために、やらなくちゃならないことをやっていくこと。</p> <p>もう一つは、家族の関係性を育んでいくことが重要です。</p> <p>○家事シェアのやり方には3つのパターン。「シュフ型」…中心となる家事の担い手がいて、その下にサポーターとしてパートナーや子どもたち、家事代行サービスなどの手伝ってくれる人たちがいる場合。「担当型」…パパは洗濯と掃除、ママは料理など、担当制にしている家庭。両者の「ハイブリット型」もあります。どのパターンでもいいのですが、運用の仕方が全く異なります。そこを間違えると、うまくいきません。</p> <p>○シェアする時に、まず押さえておきたいことは、家事を主体で担っている人は、男女にかかわらず、全体像を把握したうえで「自分と同じように家事をやってほしい」と思っていますが、「同じように家事をするのは、無理だと受け入れる」こと。その上で「どういう関係性をつくっていくか」が大事なのです。</p>				
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・普段家事等をしていないので妻の不満がわかった。私はおつこう病にかかっているので早く治したい(70代・男性) ・家事とはコミュニケーションが必要と感じました。(50代・女性) ・全ての話に共感・納得できた。実践あるのみ。少しずつ思い出しながらやってみます。(～30代・女性) ・なかなか家事をしてくれない夫ですが、伝え方やちょっとした工夫次第で少し家事をシェアできるのではないかと感じました。三木さんのユーモアある語りで2時間があっという間でした。夫にも聞いて欲しい話でした。(40代・女性) 				

